



岩瀬和子議員

選ばれる町田をつくる会
市政レポート2025年号

町田市議会「一般質問」特集

(2025年度)

真摯に! 誠実に! 創ります!
「笑顔あふれる町田へ」

町田市議会議員

いわせかずこ

岩瀬和子

市議会は3月、6月、9月、12月の定例会と臨時会があります。

2025年3月から12月までの町田市議会「一般質問」をピックアップしました。

今までの代表質疑、一般質問等はホームページに掲載されています。

www.k-iwase.net

2025年9月定例会

Q. 歩道橋に対する市の考え方

町田市が管理する横断歩道橋は、6基。共用から50年を超える老朽化の急速な進展が予測されることから、修繕・架け替えに要する経費が多大になる。今後の維持管理を見据えた際、利用者が少ないなど必要性の低い横断歩道橋は撤去することも考えられる。バリアフリーの観点からエレベーター・スロープの設置はできないか?

A. 地域の方や関係機関と協議を行い、撤去対象施設の検討を行います。エレベーター設置は、整備や維持管理コスト面での課題。スロープ設置はバリアフリー基準に適合した勾配の確保が困難です。



撤去予定の本町田西小学校前歩道橋



2025年9月定例会

Q. 学童保育クラブの夏休みの給食提供の実証実験を行ったが昼食提供の本格化、他地域でも取り組みを。

A. 給食センターの事業者や学童保育クラブの運営事業者と共に検証を行います。検証結果や、保護者や児童に実施したウェブアンケートの結果を基に、鶴川エリアでの昼食提供の本格実施や、他地域の学童保育クラブでも昼食提供が可能となるよう各エリアの給食センターの事業者や学校給食の所管課と話し合いを進めています。



シルバー人材の方が配膳のお手伝い

岩瀬和子プロフィール 3月11日生まれ (2007年に結婚し現在は細野和子。通称として岩瀬和子を使用しています。)

学歴:町田市立小山小学校・桜美林中学校・桜美林高等学校・桜美林短期大学家政科 卒業

現在:町田市議会議員(2006年初当選・現在5期目)、総務常任委員会、東京都十一市競輪事業組合議会副議長、東京都六市競艇事業組合議会議員、町田市国民健康保険運営協議会委員、町田市倫理法人会会員、国際ソロプロチミスト町田会員、明治神宮崇敬会会員、保護司、自衛隊募集相談員、日本ボイスカウト東京連盟町田第20団団委員、桜美林学園 同窓会幹事

活動歴:町田市議会副議長(2022-2023年)、東京都議会議員秘書、鶴二学童保育クラブ父母会会长、千都の杜子ども会会长

資格:中学校教諭免許、秘書技能検定2級、ホームヘルパー2級、色彩能力検定2級、リフレクソロジスト、中型自動二輪免許、JADP認定メンタル心理カウンセラー

家族:夫(先祖は、明治の自由民権運動家 細野喜代四郎)、長男、猫(ちび、保護猫のデコ&ペコ)

父 岩瀬雄二是元町田市議会議員(5期20年)、2023年9月17日永眠(91歳)

趣味:旅行、フラワーアレンジメント



あなたに代わって質問します 岩瀬和子議会質問

暮らしおの疑問、地域の困りごとは
ご相談ください。



2025年3月の一般質問

Q. 「国際更生保護ボランティアの日」に町田市庁舎のライトアップを！

「国際更生保護ボランティアの日」は、地域ボランティアが罪を犯した人の立ち直りを支える活動を行うことの意義や取組、その貢献に対する国際的認知度の向上を図ることを目的としたもの。第2回世界保護司会議において4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」と宣言。

A. 「国際更生保護ボランティアの日」にちなんで、町田地区保護司会、更生保護女性会、協力事業主等の皆様の日頃の更生保護活動を「広報まちだ」やSNSで発信するとともに4月17日には庁舎をイエローのライトアップをするなど周知を図っていきます。



Q. 町田市の中心市街地に映画館を

今まで赤ちゃん連れでも周囲に気兼ねなく映画が観れるようママズクラブシアターの実現の提案、誘致制度を検討するよう提案をしてきました。

A. 町田市駅周辺再開発推進計画の進捗に合わせシネマコンプレックス導入を掲げ、市民の期待が大きい映画館の誘致の実現を目指します。施設導入のための空間の確保、資金面の問題等、課題解決に向け小田急電鉄（株）と意見交換を重ねているところです。

Q. 三輪みどり山スポーツ広場を公園化へ

大規模なスポーツ広場の整備計画は、三輪緑山スポーツ広場、山崎第二スポーツ広場、小山スポーツ広場の整備を予定している。スポーツ広場が公園化するまでには、基本計画、基本設計、実施設計、整備工事で最低でも5年を要する。

A. 公園化することで、①周辺住民の住環境を配慮した施設機能の向上 ②市の予約システムの導入③施設利用料金の有料化となります。地域の理解や利用団体との調整を踏まえ整備に取り組んでいきます。



2025年6月の一般質問

Q. 町田市耐震改修促進計画を早急に

町田市耐震改修促進計画が今年度末で計画期間の終わりを迎えるため、これまでの町田市の耐震化に向けた取組を振り返るとともに、今後の施策の方向性を確認する。

A. 2000年5月以前に建築された新耐震基準の木造住宅に対し、耐震化の目標を定め、それに向けた支援を拡充し、計画案作成の作業を2025年11月中を目途に実施していきます。年明け1月に市民意識募集を行いそれらを反映して2026年3月に計画の改定を行う予定です。

Q. 学童保育クラブについて（抜粋）

○夏休みなどの長期休暇中の学童保育クラブの昼食提供について現状は。

○災害時対応についてガイドラインを作成するよう要望してきた。

A. 昼食提供のモデル事業を実施するクラブは、鶴川第二、鶴川、大蔵、金井、藤の台ポケット、本町田ひなた、成瀬学童保育クラブの7クラブ。期間は10日間、金額

は1食あたり500円となります。保護者がスマートフォンやパソコンを使い専用の注文フォームから各自お申し込みを頂きます。

A. 児童、保護者及び学童保育従事者等の安全を守りつつ、適切な学童保育環境を確保し、必要なサービスが提供できるよう、台風や集中豪雨等に伴う避難情報発令時における市内の学童保育クラブの開所・臨時閉鎖等の対応について2025年4月にガイドラインを定めました。



2025年9月の一般質問

Q. 子どものショートステイ事業について、「減免制度に1年間に7泊という日数制限」の見直しを。また、利用希望日が重複し定員が超えた場合の対応は

○事業の委託施設は、生後3ヶ月から2歳未満の子どもを預かる施設「ベビーココ」、2歳から小学6年生までの子どもを預かる施設「マルガリータ」がある。

○非課税世帯や生活保護受給世帯への減免措置については、年間7泊まで適用としており、7泊を超える場合は、課税世帯と同額の利用者負担となる。

A. 利用者負担の見直しについては、委託事業者と検討してまいります。2021年度から、利用者負担枠を拡充するため、2歳以上を対象に「協力家庭ショートステイ」を開始しています。



2025年12月一般質問

Q. 女性に選ばれるまちは

女性に選ばれるまちを目指すことは、全ての人々にとって住みやすい環境を整えること。地域全体の活力が高まり、住民一人ひとりが幸福を感じられるまちが実現することにつながる。

A. 女性の健康とライフステージ支援、治安・防犯対策、育児・介護等、働く女性が安心して暮らせる環境整備、女性の居場所づくり等、女性が生涯活躍でき安心して暮らせるまちを目指します。

Q. 「子ども性暴力防止法」(日本版DBS)は、2026年12月に施行されるが早期対策を！

日本版DBSは、学校や保育所などで子どもと接する仕事に就く人の性犯罪歴がないかを確認する制度。

A. 2026年1月以降に行う事前準備として子どもの安全を確保するために「子どもからの相談窓口を設置すること」「不適切な行為の内容の検討を行うこと」「従事者・保護者などへの制度の周知や啓発を行うこと」「事案が発生した際の報告・対応ルールを策定すること」が国から求められている。説明会等でも周知を図ります。

●児童相談所虐待対応ダイヤル 189 (いちはやく)

●災害用伝言ダイヤル 171

いわせ

岩瀬和子後援会事務所 www.k-iwase.net

〒195-0053 東京都町田市能ヶ谷4-36-8 FAX 042-735-2027 mail:info@k-iwase.net